



**MORIOKA**  
ROTARY CLUB WEEKLY

第18回例会(11月18日)  
平成28年11月25日発行

クラブ事務所 岩手県盛岡市菜園1丁目10  
川徳デパート内  
例会場 同上 TEL(651)1111(代)  
例会日 毎週金曜日12時30分～

会長 駒木 進  
幹事 海野 尚  
会報 熊谷 隆司  
クラブ事務局 TEL(653)5682  
FAX(653)5622

ROTARY SERVING HUMANITY. '人類に奉仕するロータリー'..... ジョン F ジャーム

新入会員卓話



『お客さま・地域の皆さまとともに』

東日本旅客鉄道(株) 執行役員盛岡支社長

大内 敦君

1. はじめに

東日本旅客鉄道株式会社(以下、「JR 東日本」)は1987年4月、日本国有鉄道(以下、「国鉄」)の分割民営化で誕生しました。関東・東北・甲信越の1都16県を営業エリアとし、私ども盛岡支社を含め12の支社があります。全社の営業キロは約7,500 km(67線区)、駅数は1,665駅、1日当たりのお客さま数は約1,700万人です。盛岡支社は岩手県全域・青森県東部、そして秋田・宮城県の一部を営業エリアとしており、営業キロ・駅数は全12支社のなかで2番目に多く、それぞれ約1,160 km(12線区)、204駅ですが、お客さま数は約8万人となっています。

盛岡支社の概要	
駅数	204駅
営業キロ数	在来線 845.2km
	新幹線 316.3km
1日あたりの乗車人員	約8万人
社員数	約3,400人

管理する線区(12線区)

東北新幹線、東北本線、大船渡線、北上線、釜石線、山田線、田沢湖線、花輪線、八戸線、津軽線、大湊線、気仙沼線(BRT)

盛岡支社の概要

2. JR 東日本の出発点

JR 東日本は上述の通り1997年4月の国鉄の

分割民営化で誕生しました。まさに第一の出発点です。自主自立の経営を貫き、地域に密着した経営を行い、環境変化に柔軟に適應できる企業を目指してまいりました。会社発足から約24年が経過した2011年3月11日、東日本大震災が発生しました。この震災を通して、私どもはあらためて弊社の使命を再認識し、お客さま、そして地域の皆さまとともに生きるの想いを強く持ちました。これを第二の出発点と位置付けています。

東日本大震災では、新幹線・在来線とも非常に大きな被害を受けました。新幹線は電化柱の折損、高架橋柱の損傷などの被害を本震で280箇所、4月7日の余震で220箇所(再被災箇所50箇所を含む)受けました。また、在来線では津波被災線区を除いても、線路の変状、線路路盤流出、ホーム崩壊、電化柱の折損などの被害を本震で550箇所、4月7日の余震で250箇所(再被災箇所150箇所を含む)受けました。

4月7日の余震で再度大きな被害を受けたこともあり、在来線(津波被災線区を除く)の全線運転再開は4月21日、新幹線は4月29日となりました。4月29日には各駅にて地域の皆さま、JR社員が一体となりお客さまをお出迎えしました。また、沿線各地で地域の皆さまが新幹線に「おかえり」と手を振り迎えてくださいました。この光景は私どもJR東日本の社員にとって一生忘れることのできないものとなりました。震災の経験を通じて、弊社の使命であ

る「究極の安全」、「サービス品質の向上」、「地域との連携強化」を再認識いたしました。



新幹線全線運転再開時に  
手を振り出迎えてくださる皆さま

### 3. 震災被災線区の復旧状況

東日本大震災による津波により、盛岡支社エリアでは八戸線・山田線・大船渡線・気仙沼線の4線区が大きな被害を受けました。この4線区の復旧状況につき述べさせていただきます。

#### (1) 八戸線

八戸線は全線鉄道による復旧を行いました。津波発生時の安全確保のため、津波避難標識や津波避難口などの設備を整備しました。津波避難口は八戸線全体で113箇所（うち階段14か所）を整備し、定期的にお客さま・地域の皆さまとの津波避難訓練を実施しています。



八戸線 津波避難訓練の様子

#### (2) 山田線（宮古・釜石間）

山田線（宮古・釜石間）は2018年度内に鉄道を復旧し、三陸鉄道株式会社に移管する計画です。現在、被災した橋りょうの復旧、街づくりとの調整などを行ないつつ、概ね計画通りに復旧工事を進めています。

#### (3) 大船渡線・気仙沼線

大船渡線（気仙沼・盛間）と気仙沼線（柳津・気仙沼間）はバス高速輸送システム（BRT：Bus Rapid Transit）により仮復旧しました。その後、地域の皆さまとのご相談の上、BRTにて本復旧することとなりました。BRTは以下のような特徴があります。



BRT の車両

- ①地震・津波発生時も可能などころまで自力走行することでお客さまがより避難しやすくなる
- ②まちづくりの各段階に合わせたルート設定、駅の増設等の柔軟な対応が行える
- ③鉄道敷を活用することにより速達性・定時性が確保できる
- ④フリークエンシー（運行頻度）を高め、利便性を向上させる
- ⑤一般道路を活用すれば、早期の運行開始が可能である

また、さらに利便性を高めるため気仙沼駅・盛岡駅では鉄道とBRTを対面ホームで発着できるように駅改良を行っています。また、BRT車両には環境にやさしいハイブリッド車両を多く導入し、車体もバリアフリー対応・キャラクターラッピングの明るく楽しくお客さまにやさしいものとなるよう配慮しています。

今後とも、お客さま・地域の皆さまに愛される安全でより快適・利便性の高い輸送モードとなるよう地域の皆さまとともに必要な改良を加えてまいります。

### 4. お客さま・地域の皆さまとともに

弊社では地域を元気にする一助として、新幹線でつながる首都圏との交流人口を増やす取り組みに力を入れています。観光キャンペーン、乗って楽しい列車の設定などにより、一人でも多くのお客さまに岩手県をはじめ東北地方に足を

運んでいただけるよう取り組みを行っています。

#### (1) 青森県・函館ディステーションキャンペーン

2016年3月26日の北海道新幹線開業に合わせ、2016年7月から9月までJR6社・関係地域の皆さま・観光事業者が共同で行う大型観光キャンペーンであるディステーションキャンペーンを青森県・函館で開催しました。このキャンペーンは新幹線ネットワークの拡充を最大限に活かし、魅力あふれる回遊ルートを構築し、「青森・函館」をひとつの観光エリアとすべく、様々な広域周遊ルートを構築することを目的として、地域の皆さまとともに観光素材の掘り起しやおもてなしを実施しました。このキャンペーンには全国から非常に多くのお客さまにおいでいただきました。来年も7月から9月にかけて「青森県・函館観光キャンペーン(仮称)」を開催し、今年培った観光素材の更なる磨き上げ・定着と青函周遊旅行の促進を図っていく計画です。

#### (2) 乗って楽しい列車

「乗る」こと自体が目的となるような様々な「のってたのしい列車」の運転を行っています。特徴のある楽しい列車の旅を地域の皆さま、そして全国の皆さまに楽しんでいただきたいと考えております。ここでは、盛岡支社エリアの乗って楽しい列車をいくつか紹介します。

##### ① POKÉMON with YOU トレイン

2012年12月より、大船渡線(一ノ関～気仙沼駅間)で運行を開始しました。東日本大震災で被災した東北の子どもたちに笑顔を届けることが目的として、森の中をコンセプトに、100匹以上の様々なポケモンたちをデザインしており、のびのび遊べるプレイルーム車両もご紹介します。

##### ② TOHOKU EMOTION

2013年10月より、八戸線(八戸～久慈駅間)で運行を開始しました。三陸の海が広がる八戸線の車窓の景色を楽しみながら有名シェフによる地元食材を活用した料理をお召し上がりいただけます。東北各地の伝統工芸をモチーフとしたインテリア・食器を採用しており、運行開始にあたっては路盤整備や沿線樹木の伐採など設

備担当社員も力を合わせ実現しました。また、八戸線沿線の洋野町では、地元の洋野町の皆さまが TOHOKU EMOTION に大漁旗や手を振りおもてなししていただく洋野エモーションが行われています。



線路沿いでお出迎えしてくださる洋野町の皆さま

##### ③ SL 銀河

岩手県営運動公園に静態保存されてきた C58 239 を復元し、2014 年春より釜石線(花巻～釜石駅間)で運行を開始しました。客車は釜石線沿線を舞台に描かれた宮沢賢治の「銀河鉄道の夜」を代表的なテーマとしてプロデュースしており、宮沢賢治ゆかりの展示物やプラネタリウムなどがございます。週末を中心に運行しておりますが、ナイトクルーズ、クリスマストレインなどのイベントを随時開催しております。

##### ④ TRAIN SUITE 四季島

2017年5月に運行開始を予定しているクルーズトレインです。10両編成で全17室の寝台列車です。おかげさまで最高倍率が76倍(同5月1日の3泊4日コース)、平均倍率は6.6倍となるなど大きなご期待をいただいております。この列車の運行を通じ、地域の様々な魅力を情報発信することで地域の活性化に貢献してまいります。

##### (3) 優れた製品の情報発信・6次産業化商品の開発

地域との連携を強化し、地域の皆さまとともに知恵を絞る「共創」戦略のもと、鉄道ネットワークの特性及び首都圏での販路を持つメリットを活かしながら、更なる地産商品の掘り起こしや伝統文化、祭り等観光資源の紹介といった地域活性化を進めていきます。具体的な取り組みとしては、地域と連携した産直市の展開、伝統工芸品の発掘、農産加工商品の開発などを通

し地域における新たな雇用創出や資源の活性化に努めます。また、イベント・地域情報発信を地元と都心の双方向で行うことで人の移動も含めた交流の創出も目指していきます。



いわて産直市の様子 (2016.7 上野駅)

(4) 冬の東北キャンペーン

これまで「観光の力」による東北の復興支援を目的に、2011年11月から「行くぜ、東北。」キャンペーンを展開してきました。この度、2016年12月より冬の東北6県の魅力を訴求する新

たなキャンペーン「行くぜ、東北。SPECIAL 冬のごほうび」をスタートします。「雪祭り&絶景」、「温泉」、「食」、「酒」を「ごほうび」と位置付け、これらの「ごほうび」を通じて冬の東北の魅力をお届けしてまいります。11月17日には上野駅にて、東北6県の知事・副知事にお集まりいただき、キックオフセレモニーを開催しました。東北6県の皆さまと協力し冬の東北にたくさんのお客さまにおいでいただけるよう力を尽くしてまいります。



「行くぜ、東北。SPECIAL 冬のごほうび」冬の東北キャンペーンが始まります。

例会報告

第18回例会  
平成28年11月18日(金)

- 12時30分 開会点鐘
- ・司会 駒木 進会長
- ・ソング それでこそロータリー
- ・ビジター 新沼義雄さん (大船渡RC)
- ・11月の歌 斉唱 (たき火)
- ・会長報告 駒木 進会長
- ・入会祝 西田直貴・佐藤仁志君。
- ・結婚祝 西田直貴・斎藤和好君。
- ・幹事報告 星 克彦副幹事

【ニコニコBOX】

◆佐藤義正君…15日に妻が黄綬褒章をいただきました。私の褒章と叙勲の時は妻に同伴してもらい、今回は私が妻に同伴して、3度目の

参内、拝謁となりました。

- ◆佐藤重昭君…ここ1ヶ月ほど金曜日に出張が続き、例会にまた地区大会にも所用で参加できず申し訳ございません。本日も出張で例会欠席でございます。心よりお詫び申し上げます。ちゃんと生きておりますのでニコニコさせていただきます。
- ◆村井研一郎君…過日のゴルフ会、脱落もせずワンラウンドを回れました。パーも3つおまけで。
- ◆熊谷隆司君…11月13日盛岡ロータリー非公認ゴルフ同好会の納会がメイプルで行われ、村井研一郎会員と同組でラウンドさせていただきました。村井会員の健脚と寄せに脱帽しました。
- ◆早坂靖志君…11月13日曜日に、非公認ではありますが、盛岡ロータリーゴルフ倶楽部の2016年納会が、メイプルカントリークラブで開催されました。青空広がる絶好

の秋晴れコンディションの中、3組12名でスタート致しました。後半は雨もパラつきましたが、今回のコンペを取り仕切り、幹事としてご尽力いただいた佐々木先生、・終始口をとんがらせて、文句ばかり言っていたN証券支店長、・それに対し、終始晴れやかに紳士であったD証券支店長という最高のメンバーに恵まれ、優勝することができましたので、ニコニコします。参加されたみなさんお疲れ様でした。幹事の佐々木先生ありがとうございました。

●メークアップ

盛岡東R.C.=吉田(幸)君。盛岡西北R.C.=佐藤(重)君。クラブ委員会=福田・平野・星・勝部・工藤(幸)・西田・佐々木・佐藤(仁)・吉江君。

出席報告 会員数 /74名 出席数 /40名 出席率 /55.56% 前々回 /71.83%

プログラムの  
お知らせ

・11月25日(金) ゲスト卓話 藤村七美様  
(CO.CORO サポート代表)

- 本号編集担当 / 橋本 孝史
- 次号編集担当 / 長谷川 桂